

(様式第4号)

上田西部地域協議会 会議概要

1 審議会名	上田西部地域協議会
2 日時	平成28年9月28日 午後7時00分から午後8時30分まで
3 会場	西部公民館 1階大ホール
4 出席者	五十嵐委員、石塚委員、小市委員、小宮山委員、渋谷委員、清水委員、高橋委員、田畑冴子委員、田畑裕康委員、塚本委員、平石委員、堀内委員、宮川委員、宮崎委員、宮下委員、母袋委員、横関委員
5 市側出席者	水野地域振興政策幹、武捨市民参加・協働推進担当課長補佐、北沢市民参加・協働推進課長補佐、小林市民参加・協働推進担当係長、樋口市民参加・協働推進担当主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成28年10月 11日

協 議 事 項 等

会議次第

1 開会

2 会長あいさつ

3 会議事項

(1) 地域内分権について

- ・事務局から、住民自治組織の必要性等について説明
- ・以下、質疑応答

(会長) 昨年から地域内分権の説明を聞いていて、わからない部分もあるが一步進めるべきではないかと考えている。西部地区自治会連合会では住民自治組織設立に向けて、先行して正副会長で話し合いをし、どのように準備会を設立するか検討した。本日は準備会設立について賛同を得たいと考えている。西部地区は12自治会のうち7自治会の自治会長が1年で交代してしまうが、旧自治会長も含めて準備会設立に向けての会議を開きたいと考えている。塩尻地区ではどのような状況か。

(委員) 準備会設立は、地域協議会の単位でないと出来ないとのことだが、塩尻地区としては立ち上げて地域課題がないのが現状である。無理やり活動をやらなければいけないということでは困る。立ち上げて事業費は利用しなくても良いのか。

(事務局) 準備会に交付されるお金は、数十万程度である。会議を開いた時や視察などに行くバス代等で終わってしまうほどの額。事業費として交付されるのは、その次の段階である住民自治組織を立ち上げた時となる。西部地区だけ立ち上げるとなると、西部地区にだけ交付される。また、設立直後から事業を無理に行う必要はない。

(委員) 心配しているのは、当面やることがないことである。

(事務局) 自治組織を設立し、課題にすぐ対応できる準備を。交付金があるから何かをやらなければならないということだけでなく、費用のかかる課題解決に交付金を使えるという事。

(委員) 西部地区が進んでいて、塩尻地区は何もしないで準備会もできないようでは困るという声もある。来月、塩尻地区自治会連合会の役員打ち合わせがあるので、今日の話は報告していく。塩尻地区3自治会長の中では準備会は立ち上げなければいけないかなという声は出ている。

(委員) 市民活動団体がわがまち魅力アップ応援事業を活用していた事業についても、補助金が終了した後は住民自治組織への交付金を使用することが出来るのか。

(事務局) 市民活動団体であっても、組織として参加し、地域課題として取り組めば、当然使用できる。

(委員) 今まででは西部地区と塩尻地区が一緒になって活動することがなかったが、共通のものはなにかと考えると水利の問題がある。お互いにフォローしながら知恵を出し合っていくのが組織であると思うが、一緒に活動した経験がないので、どこまで踏み込んで良いのかわからない。また、自治会連合会だけでなく、地域協議会も協力して、幅広い分野の方たちと話し合っていくことが良いと思う。

(委員) 塩尻地区としては、まだ、西部地区が進んでいるので前向きに考えなければいけないという程度である。

(委員) 西部塩尻地区では、資源循環型施設の建設問題、汚水処理場等施設の建設の話などの問題があることを承知しておいてもらいたい。

(委員) 組織として西部地区と塩尻地区が問題を出し合い、どのような考えがあるか意見を出し合い、共通の認識を持つようになれば良い方向へ向かうのではないかと。市全体が地域内分権について考えていければ良いと思う。

(会長) 地域協議会で地域内分権を検討して、自治連へ投げかけたい。異論がなければ、西部地区自治会連合会が主体となり推進するという方向で承認いただきたい。

(委員) 問題は避けきれないが、スタートしないと次のステップが踏めない。住民自治組織で話し合えば、環境問題等も今後検討していけるのではないかと感じた。一歩進めていただければありがたい。

(会長) この場で承認いただければ、進められる。意見がある方は発言をお願いしたい。

(委員) 西部地区では、子ども達も親の考え方も様々なため、役員の担い手さえいなくなっているのが現状。塩尻地区は多様な人材、親の団結力が素晴らしいため、知恵をいただきたい。様々な立場の方が話し合いをすることにより、地域での様々問題を知ることができ、認識する事ができる。そういうところからも広域で話し合う事が必要だという事を感じた。

(会長) 西部地域としては、一步進めていきたいので承認をいただきたい。
拍手全員により、承認。

(会長) 次回の西部地区自治会連合会で報告し、進めていきたい。

(2) その他
・特になし

4 その他

(1) 今後の予定

ア 第7回西部地域協議会

(ア) 日時 平成28年10月31日(月)午後7時から

(イ) 場所 西部公民館1階大ホール(和室)

イ 第8回西部地域協議会

(ア) 日時 平成28年11月29日(火)午後7時から

(イ) 場所 西部公民館1階大ホール

5 閉会